

平成30年度 障害者スポーツ理解啓発推進事業 第2回学校間交流会の実施について

平成30年11月30日(金) 午前9時40分～11時30分

茨城県立友部東特別支援学校の小中高等部生と笠間市立みなみ学園義務教育学校の生徒が、障害者スポーツを共に楽しむことで、お互いを正しく理解し共に助け合い、支え合っていくことの大切さを学ぶことを目的とした県の事業です。今回は第2回目で、障害者スポーツとして人気の「ボッチャ」を一緒に体験します。

※第1回目は、10月にフライングディスクを使用したスポーツを体験しました。

■ 第2回学校間交流会 概要

- 1 交流会日時
11月30日(金) 午前9時40分～11時30分
- 2 会場
笠間市立みなみ学園義務教育学校 南中校舎 (笠間市北吉原15)
- 3 活動内容
①ボッチャ協会の方による本校生へのデモンストレーション
②障害者スポーツ体験 (ボッチャ)
③感想発表
④成嶋 祐一 氏 (茨城ぼっちゃ倶楽部) による全体講評
- 4 交流学年及び参加者
笠間市立みなみ学園義務教育学校 8年生 15名
茨城県立友部東特別支援学校 小中高等部生 24名
管理職、小中高等部職員、養護教諭 30名
- 5 主催
茨城県教育委員会

● 「ボッチャ」とは…

ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競い合います。